



PLUS ULTRA

# HAKUOH

白鷗大学足利高等学校 令和2年3月31日発行



▲卒業式のひとこま

卒業式での学校長式辞▶



▼富田校舎修学旅行(グランドキャニオンにて)

本校舎体育祭▼



令和2年

# 3/31

# 第60号

- 「大人」になるということ 学校長 岡部 宣男 ..... 2ページ
- 卒業生に贈る言葉 ..... 3ページ
- 答辞・学窓の思い出・送辞 ..... 4~7ページ
- 本校舎トピックス ..... 7~8ページ
- 富田キャンパストピックス ..... 8~9ページ
- 進学・就職状況 ..... 10~11ページ
- 活躍する部活動 ..... 12~14ページ
- 白鷗大学だより ..... 15ページ
- PTAだより・新生徒会・他 ..... 16ページ



# 「大人」になるということ

白鷗大学足利高等学校長 岡部 宣男

昨年12月に中国の武漢市で発生した新型コロナウイルスによる感染症が、2月には中国全土に拡がり、その後、またたく間に日本を含む世界80か国以上に感染が拡大しました。日本政府は感染リスク低減のため、各学校の一斉臨時休業を要請、卒業式などの行事も感染防止の措置を講じ、最小限の人数での実施を求めました。

卒業式は本来、全校をあげて卒業生の3年間の努力を称え、栄えある前途を祝福する行事ですが、今年度は教室で、卒業生だけの式典となってしまう、残念でなりません。このような状況を理解し、真摯に受け止めてくれた皆さんに、改めて祝福の言葉を贈ります。

## 式 辞

暖冬とはいえ、朝晩に肌寒さを感じる時季ですが、日差しが日増しに強くなり、春はもうすぐです。

高等学校卒業という一つの節目を迎え、未来に向かって大きく羽ばたこうとしている580名の皆さん、卒業おめでとう。将来への希望と、惜別の思いが交錯し、複雑な心持ちではないかと思えます。皆さんは、本校での3年間、勉強はもろろのこと、学校行事や部活動そのほか様々な活動において数々の成果を残し、本校の歴史に新たな一ページを書き加えてくれました。そして、私たち教職員

に多くの感動と、この学校で勤務する喜びを与えてくれました。何事にも一生懸命に、誠意溢れる姿勢で取り組んだ皆さんの姿に励まされ、その笑顔に何度力を与えられたことか。本当にありがとうございます。



それぞれの進路の新しい環境の中で、目標に向かって生活していくことになりまます。どのような道を進むにせよ、高等学校を卒業するということは、あらゆることに自己責任を求められる「大人」になるということです。

「大人」になるということは、自らが作者となり、監督となり、同時に登場人物にもなる、筋書きのない人生ドラマの舞台に主人公として立つことだと私は思います。皆さんのこれまでの勉強は、「問題」も「答え」も用意されていることが通常でした。問題には必ず答えがあり、その答えは一つ

でなければなりませんでした。

しかし、これからの皆さんには、シナリオも答えも用意されてはいません。主人公である自分がどんなセリフを言い、どんな演技をするかによって、その後のストーリーも変わってくる。答えの無い問題と向き合うことになるのです。「大人になる」とは、そういった先の見えない状況の中で、「人生ドラマの主人公の役割を、責任ある態度で果たさなければならなくなった」ということです。さらに、親に愛されるだけでなく、親に感謝し、親を愛するようになることです。

そして、大人の仕事というのは、悔いが残ったり、不十分に感じたりすることの連続です。与えられた環境の中でベストを尽くす、自分ではどうすることもできないことを受け入れ、その中で、百点でなくてもいい、合格点の答えを探す。これが大人の仕事なのです。



大人の人生ドラマの幕は切って落とされました。主役はあなたです。その座を決して誰かに譲ることなく、あなたらしく自らのドラマを堂々と演じてください。

最後に、変化の激しい二十一世紀の社会を生きていくためには、今まで培ってきた知識と技能、自分にとって何が必要かを考える判断力、底力のある人間力、他人に対しての優しさを身につけなければなりません。

そして、先人の夢や努力や悔いを引き継いで、お互いに助け合い、幸せな社会を築いていくことが、皆さんに課せられた使命です。皆さん一人ひとりが、これからの時代を任せられた人間として、ますます精進されることを願っています。

それでは皆さん、お別れです。最後に私の好きな言葉を贈ります。「美しい花には、隠れた根の力がある」  
皆さん、ごきげんよう。

# 卒業生に贈る言葉

## 主体性と協同



教頭 長 光則

卒業おめでとうございます。新型コロナウイルス感染拡大の影響で通常と異なる形態での卒業式となりましたが、皆さんの喜びや感動、惜別の思いは、例年に勝るとも劣らない大きなものであったと思います。

令和元年度は、前述のコロナウイルスのみならず、台風19号による被害も甚大で、私たちに多くの試験を与えた、記憶に残る年となりました。今後も様々な試験に立ち向かっていかなければならない皆さんに二つのワードを贈ります。

第一に、自分の意志や判断によって責任を持った行動ができる「主体性」を身につけて欲しいということです。それは、周囲に流されることなく、自分の考えに基づいた行動力です。

次に他人に対して優しい気持ちを持ち、協力し、支え合って仕事や物事に取り組む「協同」の大切さを理解してほしいということです。

## 信じて、進む



「主体性」と「協同」とは、決して相反するものでなく、これからの多様な価値観の混在する複雑な時代を生き抜くために不可欠な要素です。今後、皆さんが力強く障壁を乗り越えることを心から期待します。

令和元年度は、私たちの生活を大きく変える出来事が三つありました。台風19号、大学入試センター試験の終了と二転三転する入試改革、そして新型コロナウイルスです。「一寸先は闇」わかってはいたつもりでも、私たちは想定外の変化に動揺し、大きな不安や焦りに襲われます。

しかし、人生に想定外はつきもの。大切なのは、今自分でできることは何かを掴み、実行していくことです。新型コロナウイルス対策

## 大切に生きる

文理進学コース長兼教務主任 高久 哲史



卒業おめでとうございます。先日は生徒会誌「若人」にソクラテスの言葉を引いて「何となく生きるのではなく、より良く大切に生きることを心掛けてください」と述べましたが、贈る言葉の原稿依頼を受けてから朝

教頭 須藤 敏哉

策なら、手洗い・バランスの良い食事・十分な睡眠。大学入試対策には、コツコツと勉強すること。あまりに当たり前なことですが、この当たり前を日々確実にこなせている人が世の中にどれくらいいるでしょうか。

情報化社会になって久しく、私たちはその情報を駆使し、出来るだけ効率的にゴールへ向かうことを追い求めました。それも必要なことです。しかし、日々の努力を抜きにショートカットできる道はありません。先が不透明な今だからこそ、自分でできることを考え、それを愚直なまでに日々行動に移す。努力は決して無駄になりません。自分を信じて進んでください。

## プラス思考の勧め

総合進学コース長兼教務主任 赤石 緑



夕に思いを巡らせて、新たに皆さんに伝えたい言葉を探しました。今春、ある女流作家と高校生との対話という企画を目にしました。ソクラテスが「正しいこと」とは何かを探求して2500年。その二つの回答として、その女流作家が「みつともない真似、見苦しいこと生き方ははしない」と述べていました。この方のメッセージの中から、私が首肯共感した言葉をアレンジして皆さんに贈ります。

ご卒業おめでとうございます。皆さんが進む道は、進学、就職とそれぞれですが、これからの人生には様々な出来事が待っています。順風満帆に行くことは難しく、幾度となく大きな壁にぶつかるかも知れません。私自身も今まで、実に沢山の経験をしてきました。それらを通して学んだことは「物事の受け止め方は自分次第」ということです。マイナスに考え始めるときりがなく、蟻地獄に落ちたかのように這い上がるのが難しくな

ります。けれど、プラスに受け止めるように努めると、気持ちも楽になり、不思議と物事が良い方向へ向かうのです。

す。  
若いうちに勉強して「教養」を身につけておくことで、将来のダメージを免れることができる。  
人は壁にぶつかるとうしたら良いかを考える。だから若いうちに壁にぶつかるといい。  
また、フランスの小説家ジイドは次のように言っています。「まずは麓から見えるトルストイという山に登る。今度はそこから見えるドストエフスキーという山に登る。登っているときは必死になる。一心になる。」  
若い時代を満喫してください。

『太陽に向かい 歩いているかぎり 影を踏むことはない。そう信じて生きていく』…ある歌詞の一節です。「前向きに生きれば嫌なことも少ない。」私は、そう解釈しています。嫌なことにもぶつかり、マイナス思考に囚われ逃げ出したくなつた時、皆さんもこの歌詞のように楽天的にプラス思考で捉えてみてください。そうすればきっと、乗り越えられるはずですよ。全ての経験は、成長するための栄養剤です。頑張ってください。応援しています。

# 答 辞



桜の蕾も膨らみ、春の息吹を感じる今日この日、私たち卒業生580名は、白鷗大学足利高等学校を卒業いたします。この門出に際しまして、岡部校長先生、西場PTA会長から、心温まる励ましのお言葉を頂き、卒業への気持ち新たにするとともに、未来へと一歩を踏み出す決意を固めることができました。

3年前、私たちは、新しく始まる高校生活への大きな期待と少しの不安を胸に入学式を迎えました。球技大会では、体操着が汚れることも気にせず夢中でボールを追いかけ、白熱した試合を繰り広げました。体育祭では、女子のダンス、男子の組体操とともに、クラス・学年の垣根を越えた素晴らしい演技を完成させることができました。3年に一度の白鷗祭・富can祭では、クラスごとに個性あふれる模擬店が立ち並び、パフォーマーを披露した体育館にはたくさんの人の声援が響きました。そして修学旅行。雄大な自然が溢れ、独自の文化が根付く沖縄で過ごした4日間。いまだに残る戦争の爪痕を見聞きして、平和の尊さを再確認しました。今日までの3年間は、

たくさんの思い出に彩られたかけがえのないものとしてそれぞれの胸に残っています。



それでも試合に負けたときには、仲間の、真剣に練習に取り組む姿

白鷗大学足利高等学校の柔道部は、全国でも有数の強豪校で、毎年栃木県内外から全国大会出場を目指して多くの生徒が入学してきます。私もその一人でした。しかし朝のトレーニングから始まり、放課後の稽古、寮に帰ってからの自主トレーニングと、厳しい生活をいくらか続けても、満足のいく結果を出すことはできませんでした。

や言葉に励まされ、前を向くことができませんでした。そして2年生でのインターハイでは、団体メンバーに選んで頂き、団体戦3位入賞という貴重な経験をすることができました。嬉しい気持ちはもちろんありましたが、それと同時に、「自分たちの代でもこの舞台に立ちたい。」という気持ちが芽生え、その頃から、団体戦で結果を残したいという気持ちが強くなってきました。



「暁のおかげで3年間いろいろなところに連れて行ってもらったから満足だ。」母はよくそう言ってくれます。しかし、母がインターハイを何よりも楽しみにしていたことを私は知っています。そんな母は、試合の日には「いつもは手料理を作ってあげられないから。」と、朝早くから豪華な弁当を作って駆け付けてくれました。普段口を利くことが少ない父は、私が何の心配もなく柔道に打ちこめるように経済的に支えてくれました。そんな両親をインターハイに連れて行くことができなかったことが唯一の心残りです。

私の将来の夢は数学教師になることです。その実現のために、最後の試合が終わってから今度は国立大学進学を目指して勉強に打ち込みました。しかし、過去問に取り組んでも、柔道一色で学校生活を送ってきた私には解けない問題ばかりで、自分の勉強不足を思い知らされる毎日でした。時間ばかりが過ぎる中、本当に実力がついていっているのかという不安が常にありました。そんな時、私の支えとなり、私を奮い立たせてくれたのは、今まで応援してくれた両親に恩返しをしたいという気持ちと、励まし合いながら一緒に勉強したクラスメイトがいたこと、そして担任の田中貴大先生が「杉之内なら合

格できる。」と言い続けてくれたことでした。その言葉がなければ、私は、数学教師という夢だけでなく大学進学さえ諦めていたと思います。放課後はもちろん休日まで、自分の時間を削ってつきっきりで勉強を教えてくださいました田中先生のおかげで、私は志望大学へ合格することができました。一緒に喜んでくれた先生の笑顔を励みに、いつか数学教師という夢を叶え、また柔道部での3年間、蓬田先生から受けた教えを胸に、柔道指導者としても子どもたちの指導をしたい。そのために、これからも精進します。



部活動や人間関係、そして進路。この3年間、たくさんの不安と迷いがありました。本当にこれでいいのか、失敗したらどうしよう。そういった葛藤を抱えた私たちと

真摯に向き合い、時には厳しく、時には優しく言葉をかけて背中を押してくださった先生方。一人でもできる気になって、生意気だった私たちを一番に考え、私たちが自身よりも私たちを信じてくれたお父さん、お母さん。支えてくれた皆さんのおかげで、私たちは今、新しい世界への出発点に立つことができました。本当にありがとうございます。

そして、高校生活をかけがえないものにしてくれた友人の存在にも感謝します。友人と互いに励まし合い、時にぶつかりながら、必死に乗り越えてきた学習と部活動の日々、何気なく過ぎて行つた学校生活は一生に残る大切な思い出です。白鷗大学足利高校に入學していなかったら出会えなかった私たちは、白鷗足利の卒業生としてこれからもつながっていきます。

最後になりましたが、上岡理事長先生、岡部校長先生をはじめとする諸先生方のご健勝と、白鷗大学足利高等学校のますますの発展をご祈念申し上げます。お別れの挨拶といたします。

令和二年三月三日

令和元年度卒業生総代

杉之内 暁

(文理3の4・喜連川中)



**早稲田大学**  
**政治経済学部 経済学科**  
本校で送った高校生活は、個性豊かな友人に囲まれ、忙しくも笑いの絶えない3年間でした。受験生としての、「努力」の二文字では語り切れない勉強の日々にはくじけそうになる時もありました。そんな時、私を支えてくれたのは、共に高め合える友人の存在でした。



特別選抜コース  
3年1組  
小沼 杏華  
(太田南中)

そして、その友人たちの新しい一面を発見できた富can祭は3

年間で一番の思い出となりました。全員で意見を出し合いながら、一つのを創り上げていく楽しさは忘れられません。大学進学後や社会に出てからも人とのつながりを大切に、志高く努力し続けていきます。3年間本当にありがとうございます。



特別選抜コース  
3年1組  
岡田 茉央  
(休泊中)

**東京理科大学**  
**理工学部 先端化学科**

本校で過ごした3年間は、とても充実した期間でした。

その中で最も達成感を感じることができたのは、3年生での富can祭です。限られた準備期間で計画的に準備を進めながら、今まで以上にクラスメイトとの距離を縮めることができました。受験生でありながらも、オンとオフの切り替えを大切に、一人ひとりが互いに支え合うことで見事に富can祭を成功させることができました。感動は、今でも強く心に刻まれています。

# 学窓の思い出

この経験を胸に、大学進学後も勉強に励みながら、互いに支え合える友人たちと切磋琢磨を繰り返して、成長していきたいと思えます。3年間本当にありがとうございます。



中高一貫教育コース  
3年1組  
加藤 璃桜  
(白鷗足利中)

**立教大学**  
**文学部 文学科**  
**フランス文学専修**

3年間、同じメンバーと過ごしてきた生活がこれで終わるのかと思わずと少し不思議な気持ちになります。高校生活の中で最も印象深いのは高校3年生の時の富can祭です。私達中高一貫教育コースは「ヒライム」という名称で、スライム作りが体験できる出し物をしました。一般公開をした2日目は、担任の平井先生に手伝っていただくほどの大盛況でした。

振り返ってみると文化祭以外にも様々なことがあった高校生活でした。修学旅行や球技大会、体育祭など挙げればきりがありません。

また、普段の何気ない会話にもはつきり印象に残っているものが沢山あります。この白鷗大学足利高等学校で、楽しい3年間を過ごせたことに本当に感謝しています。



進学コース  
3年2組  
毛塚 利佳子  
(館林四中)

**上智大学**  
**文学部 ドイツ文学科**

本校で過ごした3年間は、長いようで短い時間でした。その中で印象に残っていることは、友人たちとの学校生活の日々です。自習室で友達と教え合いながら、学習に取り組んだことや、友人たちと教室で楽しくお昼ご飯を食べたことなど、何気ない日常がとても大切な思い出として残っています。

また、合唱祭や体育祭などの行事で仲間たちと協力し合ったことは、高校生活でしか味わうことができない思い出として大切にしていきたいです。

本校でお世話になった先生方への感謝を忘れずに、大学進学後も日々精進していきたいと思えます。3年間お世話になりました。ありがとうございます。





進学コース  
3年3組  
茂木 祐太  
(山辺中)

群馬大学  
理工学部 化学生物化学科

本校での3年間は、充実した高校生活でした。

何よりも思い出に残っているのは男子ソフトボール部での活動です。入学当初、勉強時間を確保で



文理進学コース  
3年3組  
古橋 佳奈  
(赤見中)

白鷗大学  
教育学部 発達科学科

本校で過ごした3年間は、私にとってたくさんの思い出であふれています。陸上部に所属し、駅伝で全国の大舞台を二度も、アンカーとして経験することができました。全国大会への道のりは決して平坦なものではなく、思うように走れず苦しむことも多々ありました。そんなとき支えてくれた仲間や家族、そして厳しくご指導してくださった先生方にもとても感謝しています。

また、部活動だけでなく、学業

まず、ほかの人と差がついてしまうのではないかと不安が募り、入部を悩んでいました。しかし、実際に入部してみると、部活動が勉強の妨げだと言いつにたくない気持ちが強くなり、人一倍努力することができました。また、部長を任せられ、部員への思いやりや、集団をまとめる大変さなど数多くのことを学ぶことができました。

今後も3年間で学んだことを生かし、社会に貢献していきたいです。

にも力を入れ、文武両道を目指して取り組んできました。その結果、第一志望の大学に合格することができました。

4月からは、私の夢を叶えるためにも、この3年間で学んだことを生かして努力していきます。



普通コース  
3年1組  
紀岡 洋夢  
(横浜鴨居中)

東洋大学  
社会学部  
メディアコミュニケーション学科

私は甲子園出場を目指し、神奈川から栃木に来ました。親元を離れた初めての寮生活、毎日遅くまでの厳しい練習は辛い時もありましたが、この3年間を通して仲間



の大切さを感じ、自立心を養うことが出来ました。最後の大会では負けてしまい、甲子園に出る夢は叶いませんでしたが、人のために働きかける大切さや物事に対する責任と自覚など、結果以上に大きなものを得た3年間だったと思います。

また、学習面においても、希望の大学に進学することを目標に努力を続けました。その結果、入学時とは比べものにならないくらい成績が伸び、希望の大学に進学を決めることが出来ました。

進学先では、硬式野球部で学んだ「辛い時こそ前に踏み出す」という精神を胸に、どんな困難があっても逃げずに立ち向かっていきます。お世話になった先生方、3年間ありがとうございました。



総合選択コース  
3年1組  
亀山 翔葉  
(足利西中)

株式会社 大協精工

白鷗で過ごした3年間は、とても充実していました。

2年生から選択したライフエリアでは、浴衣や洋服を制作したり、栄養やテーブルコーディネート、保育に関する知識や技術を学んだりと、初めての事ばかりで大変でしたが、たくさんを学ぶことができました。

総合選択コースが私たちの代で終わってしまうのは悲しいですが、私はこのコースに入ってとても良かったと思っています。これから

昼休みや放課後に先生がつきつきで指導して下さい、一人では投げ出してしまいそうな時でも、先生や友人たちが励ましてくれました。そのおかげで、ビジネス文書検定1級や日商簿記検定3級に合格することができ、達成感や自信へと繋がりました。そして、さらに上の級を目指そうという意欲を持つこともできました。



商業コース  
3年1組  
楠田 琴乃  
(桑中)

白鷗大学 経営学部

白鷗で過ごした日々は、瞬間に過ぎて行き、本当に充実した3年間になりました。

私は、一般科目の他に情報処理やビジネス文書、簿記などの検定の上級資格取得を目標として努力してきました。検定試験前などは、



社会に出ても白鷗で学んだ事を生かし、頑張っていきたいと思えます。お世話になった先生方や支えてくれたたくさんの方々に感謝しています。3年間ありがとうございました。

4月から始まる大学生活でも目標達成へ向けて精進していきたいです。3年間本当にありがとうございました。

# 送辞



冷たい風が肌を刺す冬の寒さも徐々に和らぎ、学校へと向かう道のりにも、草木の新芽や花のつぼみなど、春の兆しを感じるようになりました。今日、この佳き日に白鷗大学足利高等学校を卒業される3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

思い起こせば、私たちは入学してからいつも先輩方の姿を追いかけてきました。中学校とは違った慣れない環境に戸惑い、困っていた時、優しく声を掛けていただいたことを今でもよく覚えています。私たちは先輩方と多くの時間を共にしてきました。球技大会ではクラス一丸となり、一つのボールの行方にクラス全員の思いを乗せ、競い合いました。体育祭ではコースや学年を越えて、男女共に、全員でそれぞれ一つの形を作り上げる喜びを知りました。男子の組体操では、一人ひとりの個性を活かし、同じ目標に向かって力を合わせる事ができました。女子の集団演技では、ダンスの細かな振り付けを何度も練習し、全員で作る人文字を見事に成功させたことに感動しました。そして白鷗祭・富can祭ではクラスや部活動ごと

に皆で協力し合い、趣向を凝らした企画を考えました。準備に時間はかかりましたが、思い出に残る文化祭になりました。このような行事を通して、私たちは改めて先輩方の大きな力に気づかされました。

また、日々の部活動においても、先輩方は私たちの先頭に立って、リーダーシップを発揮してくださいました。特に、私たちが辛い練習にくじけそうになった時、かけてくださった厳しくも優しい励ましの言葉は忘れられません。

先輩方は今、それぞれの進路に向けて旅立とうとしています。先輩方が進路実現に向けて日々努力し、自らの夢を叶えていく姿は、私たちの誇りでもあり、これからの私たちの目標です。私たち在校生も先輩方に続くことができますよう、本校の伝統を受け継ぎ、悔いのない学校生活を送るために一層の精進をいたします。

最後になりますが、卒業生の皆さんのご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。

令和二年三月三日

在校生総代 猿橋 慎之介  
(文理2の4・佐野南中)

## 本校舎トピックス

### 献血セミナー

9月25日、新体育館において、本校舎の生徒を対象に献血啓発セミナー「ありがとうの手紙」が実施されました。

輸血経験者で、現在タレントとして活躍されている友寄蓮さんから闘病中の様子や献血の大切さについての話をお聞きました。

闘病中の写真を交えながら話された病気の辛さや、輸血された時の体の変化のこと、輸血経験者を代表して読まれた「ありがとうの手紙」に生徒たちは真剣に耳を傾けていました。

今回のセミナーは、献血の大切さだけでなく、命の大切さについても考えるきっかけになったようです。



セミナーの様子

その後、12月10日に行われた献血では、例年よりも多くの生徒が協力してくれました。

### 体育祭

10月29日、足利市陸上競技場において体育祭が行われました。台風19号の被害を受け、J・R両毛線に不通区間があったため、小山方面から通学している生徒たちは臨時のスクールバスでの登校となりました。規模を縮小しての実施となりました。



競技の一幕

クラス対抗リレーや長縄飛び競争・玉入れなど、クラスで競い合う競技のほかに、女子全員でのダンスや男子全員での組体操が行われ、一つのものを協力して作り上げる達成感を感じることができました。部活動行進や、部活動対抗リレーなど割愛された種目があっ

たのは残念でしたが、生徒の笑顔が印象的な一日となりました。

### 台風19号ボランティア

11月2日・4日の2日間、台風19号の被害に対する足利市災害ボランティアに参加しました。

ボランティアに志願した生徒、教職員合わせて30名がヘドロの撤去作業、土嚢袋作り、機材の運搬作業などを行いました。私たち以外にも、他校の生徒や足利の民間企業、県外からも大勢のボランティアが参加していました。

熱心に作業に取り組み中で「地域や学校みんながしっかり現実を見て、もっと多くの人がボランティアに取り組みべきだ。」と、意見を熱く述べてくれた生徒が印象的でした。私たちにできることは限られていますが、被災された方のためにも、「地元の学校ができる支援とは何か」ということを考えて、今後もボランティア活動に参加していきたいと思えます。



台風被害の様子

## おにぎりスター誕生

「おとん豚とゆばの栃握り」

11月9日、ホテル東日本宇都宮にて行われた「とちぎおにぎりスター誕生コンテスト」にて、総選3の2関根愛心さん（小山城南中）が、見事優秀賞に輝き、副賞としてお米30kgが贈られました。

県内の高校・専門・短大・大学から出品された1133点の中から、一次審査、二次審査を通過し、最終審査で実演しての受賞となりました。



中央が関根さん

## 留学生紹介

昨年の9月から今年の4月まで、

本校では足利東ロータリークラブを通じて、アメリカ・フロリダ州からの留学生、ケイリーさんを入れていました。ケイリーさんは市内でホームステイをしながら、白鷗大学、富田校舎、本校舎の3つのキャンパスで授業を受けました。白鷗大学では留学生向け



実演の様子

した。

関根さんは、小山名産のおとん豚をしぐれ煮にし、日光の湯葉、シソとゴマ、色合いを考えピンクの生姜を、小山市で有名な思川桜をイメージした形にしてサンドした、見た目のかわいさと食べごたえを兼ね揃えたおにぎりを完成させました。

宇都宮市役所内のカフェにて、毎週火曜日に実際に食べることができるそうです。

の講座を受講し、高校では日本語のレッスンを受けたり、音楽や美術、体育など実技科目を中心に授業に参加したりしていました。

体育祭では女子の集団演技（ダンス）に参加するなどアメリカでは経験することのできない高校生活を満喫していたようです。今回の留学生受け入れでアメリカと日本、お互いの文化や言葉を学び合い、交流が深まったことと思います。

## 富田キャンパストピックス

### 修学旅行

11月7〜12日の日程で、アメリカ西海岸と沖縄から希望するコースを選択して富田キャンパスの修学旅行が実施されました。富田キャンパスでは、修学旅行前後のグループワークと、それぞれの修学旅行先で、現地で働く社会人との座談会を実施し、「働く理由」を確認し学びの動機づけとするキャリア教育を行っています。



エンジェルスタジアムにて

アメリカ西海岸コースは、4泊6日の日程で実施されました。カリフォルニアアサイエンスセンターやハリウッドなどの観光とデザインランド、ユニバーサルスタジオオ、グランドキャニオンの3コースに分かれての観光もあり、異文化を肌で感じながら楽しい時間を



ユニバーサルスタジオハリウッドにて

過ごしました。また、UCLAの学生によるキャンパスツアーでは、広大な敷地に建つ大学や活気あふれる学生たちの雰囲気や驚きながらもエネルギーを吸収していました。サンタモニカではミッション型別行動を行い、必死に英語を使って現地の人々とコミュニケーションをとりながら課題に取り組んでいました。



守礼門にて

沖縄コースは、4泊5日の日程で実施されました。前半を離島で過ごし、石垣島ではエメラルドグリーンに色づく美しい海でカヌー体験をしたり、グラスボートでサングの群生や色鮮やかな魚たちに出会ったりしました。竹富島ではサイクリングで島を周遊し、自然を満喫しました。また、後半は本島に移り、美ら海水族館や国際通りなどを観光しました。平和祈念公園での学習では、平和講話を聴講して、唯一の地上戦が行われた沖縄について知り、生徒たちは、平和の大切さを改めて感じたようでした。



平和祈念公園の「平和の礎」

修学旅行後のアンケートでは、修学旅行に参加してよかったと回答する生徒が99%、自身の成長を感じられたと回答する生徒が96%、友人との親睦を深められたと回答する生徒が98%でした。様々な体験や経験が生徒の成長につながった修学旅行でした。

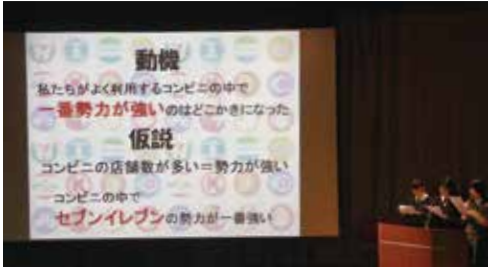


## 1年生進路基礎

探究学習発表会

2月20日・22日の2日間、富田校舎のシーガルホールで、数学科主催による1年生対象の進路基礎探究学習発表会が開催されました。数学で学ぶデータ分析を応用し、班ごとに決めたテーマに基づいて、動機、仮説を立て、ウェブ上の資料等を分析、研究。そして、その結果から考察したものをパワーポイントを使い、限られた時間内にプレゼンテーションしました。校内だけの発表会でしたが、1学年の先生だけでなく教頭先生や授業担当の先生方も参加し、盛大なものになりました。

ここ数か月間、生徒たちは数学科の先生のご指導のもとで研究や考察、プレゼンテーションの練習



コンビニの王様はセブン!?それとも……?

に時間を費やしてきました。当日はその成果が十分発揮され、先生方を唸らせるような興味深い発表がたくさんありました。主な発表テーマは次の通りです。

- 都立田舎の幸福度(暮らしやすさ)の違い
- GDPとその他のデータから先進国について考える
- 性格と血液型の関係
- 糖質と集中力
- 1番コスパのいい野菜ジュースを探せ!

## 青少年作文入賞

2月15日、足利市民会館小ホールにて、第9回青少年作文表彰式が行われました。高校生の部で多数の応募作品があった中、本校から進学1の1中嶋唯さん(館林四中)が優秀賞、特進1の1木野内和織さん(毛野中)が佳作を受賞しました。

中嶋さんは「気づかされて」という題で、家族や自分を支えてくれている周囲の人への感謝の気持ちと、自身が与えてもらった優しさや勇気をたくさんの人に還元していきたいという将来の夢を述べました。

木野内さんの作文は「表現」という題で、所属している劇団での活動や出会いを通して自らを表現するとはどういうことかを学び、日常生活においてその実践を心掛けているという内容でした。表彰式は多くの来賓に見守られ

ながら、厳かな雰囲気の中、行われました。登壇した2人は緊張しているようでしたが、賞状を受け取ると、笑顔で誇らしげな表情を浮かべていました。2人にとつて、いい経験になったと思います。



木野内さん(左)と中嶋さん(右)

## センター試験応援

1月18・19日の2日間にわたり、足利大学において最後の大学入試センター試験が実施され、本校でも、富田校舎から159名、本校舎から26名、合わせて185名の生徒が試験に臨みました。

来年度から、新しい入試制度による大学入学共通テストがスタートするというところで、重圧も大きい中、生徒たちは、志望大学合格を目指し、この日のために努力してきました。試験会場に集まって



きた生徒たちには、やる気に満ちた笑顔を見せる人もあり、あるいは緊張のためか不安そうに涙を浮かべる人がいるなど、様々な様子

## 手帳甲子園

第8回手帳甲子園(株式会社NOLTYプランナーズ主催)において、進学2の2松本花さん(白鷲足利中)が表紙デザイン部門優秀賞を受賞しました。2月1日に東京国際フォーラムで表彰式が行われ、デザインについて松本さん自らプレゼンテーションを行い、大勢の観客を前に、素晴らしい発表を行うことができました。本校では生活習慣の改善や自律的な目標管理につなげるため、手帳の活用を行っています。松本さんは毎日使う手帳の表紙に、自分が想像したものや夢など様々なモチーフを取り入れ、毎日違う見方が見られます。



松本さんがデザインした表紙

ができる楽しい手帳にしようというデザインを考えました。審査員の先生方からは、「それぞれのモチーフが無尽の未来に発展していくような印象を受けた」という評価をいただきました。

こちらから励ましの言葉を受けると、どの生徒も落ち着いて教室へと向かっていきました。

来年度以降の大学入学共通テストを見据えて、今年には思考力と判断力を重視した問題が多く出題され、グラフの読み取りや、対話形式の問題等、見慣れない問題に生徒たちも苦戦を強いられたようです。志望大学合格のためには、今後、入試傾向を踏まえた対策や、常に入試を意識して学習に取り組む積極的な姿勢がより重要になってくると思われます。

# 大阪大学、東京学芸大学、千葉大学など、 国公立大学46名合格!

早稲田大学 2名、上智大学 3名、東京理科大学 3名を始め、難関私大にも多数合格。



## 令和2年度入試 大学・短期大学合格状況

令和2年3月31日現在

白鷗大学	成蹊大学	成城大学	東京薬科大学	昭和薬科大学	明治薬科大学	学習院大学	中央大学	立教大学	青山学院大学	東京理科大学	上智大学	早稲田大学	〔私立大学〕499名	水産大学校	防衛大学校	〔大学校〕2名	他9名合格	埼玉県立女子大学	群馬県立健康科学大学	高崎経済大学	都留文科大学	琉球大学	信州大学	群馬大学	宇都宮大学	茨城大学	弘前大学	千葉大学	東京学芸大学	大阪大学	〔国公立大学〕46名
186名	3名	1名	3名	2名	1名	2名	1名	1名	1名	3名	3名	2名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	4名	1名	2名	1名	2名	12名	4名	2名	1名	1名	1名	1名	1名

群馬県立健康科学学(看護) 佐々木 萌	高崎経済大学(地域政策) 穴原 昌樹	都留文科大学(看護) 渡邊 翔太	都留文科大学(文) 田沼 愛珠	琉球大学(教育) 白石 桃菜	信州大学(教育) 田沼 愛珠	信州大学(農) 菊川 拓聖	群馬大学(理工) 藤掛 陽光	群馬大学(理工) 石井 琢真	群馬大学(理工) 金子 実加彩	群馬大学(理工) 板井 亮太	群馬大学(理工) 松村 省吾	群馬大学(理工) 眞下 智也	群馬大学(理工) 長谷 尚鋭	群馬大学(理工) 茂木 祐太	群馬大学(理工) 盛美 華	群馬大学(理工) 長竹 真吾	群馬大学(社会情報) 小林 沙和	群馬大学(社会情報) 坂詰 陵都	群馬大学(農) 進藤 蒼安乃	宇都宮大学(農) 進藤 蒼安乃	宇都宮大学(共同教育) 堀内 一葉	宇都宮大学(共同教育) 柏瀬 純矢	宇都宮大学(工) 矢澤 隼斗	宇都宮大学(工) 矢澤 隼斗	茨城大学(工) 下條 敦士	弘前大学(理工) 杉之内 暁	千葉大学(理) 関口 壱晟	東京学芸大学(教育) 小沼 杏華	大阪大学(理) 橋上 剛史
---------------------	--------------------	------------------	-----------------	----------------	----------------	---------------	----------------	----------------	-----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	---------------	----------------	------------------	------------------	----------------	-----------------	-------------------	-------------------	----------------	----------------	---------------	----------------	---------------	------------------	---------------

### 〔国公立大学・大学校 合格者一覧〕

成蹊大学(法) 新井 嘉月	成蹊大学(経済) 小林 界翔	成城大学(経済) 大島 孝介	自治医科大学(看護) 矢崎 祥絵	東京薬科大学(生命科学) 小金澤 由佳	東京薬科大学(生命科学) 小金澤 由佳	東京薬科大学(薬) 谷川 鈴夏	昭和薬科大学(薬) 板井 亮太	昭和薬科大学(薬) 板井 亮太	明治薬科大学(薬) 板井 亮太	学習院大学(文) 遠藤 瑠大	学習院大学(文) 鈴木 良亮	中央大学(理工) 對比地 聖	立教大学(文) 加藤 璃桜	青山学院大学(法) 八百城 慶太	東京理科大学(理工) 橋上 剛史	東京理科大学(理工) 岡田 茉央	東京理科大学(理工) 河内 優弥	上智大学(理工) 橋上 剛史	上智大学(文) 進藤 蒼安乃	上智大学(文) 毛塚 利佳子	早稲田大学(文) 橋上 剛史	早稲田大学(政治経済) 小沼 杏華
---------------	----------------	----------------	------------------	---------------------	---------------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	----------------	----------------	----------------	---------------	------------------	------------------	------------------	------------------	----------------	----------------	----------------	----------------	-------------------

### 〔私立大学合格者一覧〕

群馬県立女子大学(国際言語) 小林 琴音	埼玉県立大学(保健医) 高橋 杏佳	他国公立大学16名合格	防衛大学校(理工) 下條 敦士	水産大学校(食品科) 大西 諒佳
----------------------	-------------------	-------------	-----------------	------------------

浦和大学	高崎健康福祉大学	群馬パース大学	群馬医療福祉大学	桐生大学	関東学園大学	獨協医科大学	作新学院大学	国際医療福祉大学	宇都宮共和大学	足利大学	流通経済大学	日本ウェルネススポーツ大学	常磐大学	東日本国際大学	奥羽大学	東北福祉大学	仙台大学	専修大学	駒澤大学	日本文学	東洋大学	津田塾大学	芝浦工業大学	國學院大学	獨協大学	白鷗大学
1名	13名	9名	1名	3名	3名	1名	10名	9名	1名	7名	3名	1名	1名	1名	1名	1名	2名	2名	4名	6名	13名	2名	5名	3名	9名	186名

成蹊大学(経営) 岡本 拓真	明治学院大学(法) 定方 美樹
----------------	-----------------

※合格者一覧は、部のみ記載しています。  
※同じ大学、学部、氏名が、かつ以上掲載されているのは、学科が異なる場合や、入試システムの異なる方法で受験し合格した場合のものです。  
※本人の了承を得られた場合のみ掲載しています。

北里大学	大妻女子大学	桜美林大学	跡見学園女子大学	亜細亜大学	千葉工業大学	清和大学	聖徳大学	城西国際大学	淑徳大学	秀明大学	神田外語大学	江戸川大学	ものづくり大学	明海大学	平成国際大学	文教大学	人間総合科学大学	日本薬科大学	日本保健医療大学	日本工業大学	東京都大	東京国際大学	聖学院大学	駿河台大学	女子栄養大学	尚美学園大学	城西大学	埼玉工業大学	共栄大学
1名	2名	2名	2名	2名	5名	3名	1名	1名	4名	1名	4名	2名	3名	1名	4名	16名	1名	4名	3名	1名	1名	2名	1名	1名	1名	13名	7名	3名	

関東学院大学	鎌倉女子大学	神奈川大学	明星大学	武蔵野大学	文京学院大学	文化学園大学	日本体育大学	日本女子体育大学	二松学舎大学	東洋学園大学	東京福祉大学	東京農業大学	東京電機大学	東京工科大学	東京家政大学	東海大学	帝京平成大学	帝京大学	帝京科学大学	拓殖大学	大東文化大学	創価大学	清泉女子大学	昭和女子大学	順天堂大学	実践女子大学	国立音楽大学	杏林大学	共立女子大学
4名	1名	2名	2名	1名	2名	2名	2名	1名	1名	1名	3名	4名	10名	6名	3名	4名	1名	9名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	2名	1名	4名	3名	

**〔専門学校合格者〕**

群馬県立太田産業技術専門学校	関東職業能力開発大学校	館林高等看護学院	栃木医療センター附属看護学校	獨協医科大学附属看護専門学校	栃木県立衛生福祉大学校
1名	1名	1名	3名	1名	2名

他専門学校等 133名合格

**〔短期大学合格者〕**

名古屋文化短期大学	東京交通短期大学	実践女子大学短期大学部	東京経営短期大学	埼玉純真短期大学	新島学園短期大学	高崎商科大学短期大学部	桐生大学短期大学部	育英短期大学	佐野日本大学短期大学	國學院大学栃木短期大学	足利短期大学
1名	1名	1名	1名	1名	2名	1名	1名	2名	12名	3名	4名

洗足学園音楽大学	鶴見大学	金沢工業大学	山梨学院大学	近畿大学	四国大学
1名	1名	1名	1名	1名	1名

142名

30名

令和元年度の**主な就職先**

**栃木県外**

(株)ギンビス	日本パリソン(株)
(株)ケースホールディングス	日枝神社
(株)ジェイオーシー羽生	日野自動車(株)
(株)SUBARU	(株)深谷組
田島縫製(株)	山崎製パン(株)
東亜工業(株)	ワタキューセイモア(株)
トモエ乳業(株)	日産自動車(株)

**公務員**

陸上自衛隊	栃木県警察本部
海上自衛隊	埼玉県警察本部
佐野市消防本部	

**栃木県内**

アキレス(株)	第一レジン工業(株)
足利赤十字病院	(株)大協精工
いずドライネックス(株)	(株)田部井工業
オグラ金属(株)	栃木金属工業(株)
小山農業協同組合	(株)波里
(株)カワチ薬品	日立ジョソココントロールズ空調機
菊地歯車(株)	ファーレン栃木南(株)
共和工業(株)	(株)UACJ鑄鍛 鑄鍛工場
(株)キリウ	吉田テクノワークス
佐藤金属工業(株)	吉田プラ工業(株)
(株)ジェイエイバルツ佐賀	(株)吉野工業所栃木工場
シミックCMO(株)	ロジット(株)
新小山市市民病院	(株)ロピアチルド事業部

**就職状況**  
若い人材を求めろ

全国の高校生への有効求人倍率が毎年伸びている中、本校への求人数も、昨年に引き続き県内外共に大幅に増加しました。

9月から始まった就職試験（第一次）の内定率は、約80%でしたが、その後各社に連絡を取り、二次試験や10月上旬から各地で実施された合同面接を経て、12月末にはほぼ全員の内定を得ることができました。

今年度は、事情により、急遽数名の生徒が進路変更をしましたが、2月上旬までに就職希望者全員が内定を勝ち取り、特に、公務員関係に多く内定を頂くことができました。

在校生においては、現在の高校生の就職状況を把握し、「ここで働きたい、努力していきます」という意欲を持つ姿勢がまず肝心です。入社試験で課せられる学力試験や面接試験に備えて基礎学力の向上に努め、部活動や資格取得に励み、自分の目標に向けて高校生活全般を見つめ直すことが求められています。

# 活躍する部活動

## 関東大会

### 女子ソフトテニス部

念願の初優勝！

1月10・11日、群馬県の高崎アリーナで関東高等学校選抜ソフトテニス大会が開催されました。昨



表彰式後に全員で1枚

年は準優勝ということもあり、優勝を目標に掲げて練習に励んで、大会に臨みました。

1回戦は東京の武蔵野千代田高校と対戦し3対0で勝利。2回戦も群馬の健大高崎高校に2対0で勝利を収め、全国選抜大会出場権を獲得しました。千葉の植草学園大附高校との準

決勝戦では1対1で迎えた3番勝負を文理2の4大橋琉那さん(壬生中)・総進2の3牧野詩音さん(黒磯中)ペアが安定した戦いで4対0で勝ち、決勝戦へと駒を進めました。

迎えた決勝戦の相手は東京の文化学園大杉並高校でした。2面展開で行われた決勝戦は2番に出場した総進2の3山中美緒さん(花園中)・総進2の1中島紀菜さん(足利二中)ペアが相手大将ペアに対し思い切ったプレーを披露。G4対1で圧倒し優勝に王手をかけました。応援も最高の盛り上がりを見せる中、歓喜の瞬間は訪れました。1番に出場した総進2の2三好夏未さん(壬生中)・総進2の2牧野奏音さん(黒磯中)ペアもG4対2で逃げ切って2対0で勝利。念願の関東大会初優勝を決めました。選手も応援も力を発揮し目標を達成することができた大会になりました。応援ありがとうございました。

### 陸上競技部

男子200m第5位入賞

10月19・20日、千葉県東総陸上競技場において、関東選抜高校新人大会が開催され、本校からは男女合わせて27名が参加しました。

大会当日は台風のような豪雨に見舞われました。大雨による浸水で会場の駐車場が利用できず、トラックも水浸しの状態。アップ中に雨宿りする場所もありませんでした。そのような悪条件のなかの出場でしたが、文理1の3松嶋侖弥君(小山三中)が、男子200m第5位に入賞することができました。



第5位入賞の松嶋君

しかし、新チームになり初めての関東大会だったため、経験不足もあって力を出しきれず、悔しさの方が大きい大会となりました。

### 女子バスケットボール部

経験を次に生かす！

2月8・9日、山梨県緑が丘スポーツ公園体育館で、関東高等学校バスケットボール新人大会が開催されました。

1回戦の相手は埼玉の正智深谷高等学校で、ディフェンスからの速攻で得点を重ね95対40で勝利しました。2回戦は千葉の強豪昭和学院高等学校と対戦。序盤は相手の高さを生かした攻撃に圧倒さ

この経験を生かし、来年度の関東高校やインターハイに向けて頑張っていきたいと思います。

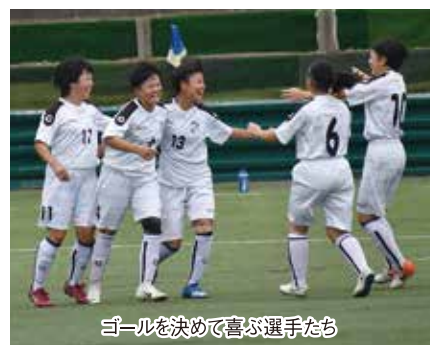
### 女子サッカー部

一度目の関東大会出場

10月26日、11月3日、茨城県鹿嶋市で開催された第15回関東高校女子サッカー秋季大会に出場しました。

天候にも恵まれ、チームの持ち味を生かしたサッカーをすることができました。初戦は、山梨県代表の県立富士北陵高校と対戦し、7対0で勝利を収めました。続く準々決勝では、神奈川県代表の県立藤沢清流高校と対戦しました。前半を1対2で折り返しましたが、後半に追加点を許してしまい、接戦の末1対3で敗退しました。準々決勝での敗退となりました。

れ、1ピリオド18対26と点差が広がりました。その後、積極的なディフェンスから速攻が決まりだし、司令塔である総進2の3小川玲亜さん(大谷中)のアシストパスに総進2の1江原彩華さん(足利西中)がドライブジャンプシュート、文理2の3茂垣美桜さん(小山三中)がゴール下シュートを決めるなどの活躍で最大2点差まで追いつきました。最後はミスも出て70対78で敗れてしまいましたが、とても良い経験となりました。



ゴールを決めて喜ぶ選手たち



大会会場にて

## バトントワリング部 宮本バトントワリング選手権支部大会

11月9日、千葉ポートアリーナで第54回バトントワリング関東大会が開催されました。今年度も全国大会出場を目標に練習を積み重ねて来ました。曲は、ドクターXのテーマ。ドクターXの決め台詞「失敗しないので」を意識し、



出場した選手たち

力強い曲に合わせて難度の高い技を沢山入れ、演技タイトルは「挑戦」としました。6名という少人数ですが、フロアを大きく使い演技しました。結果は目標としていた金賞に点数及ばず銀賞。悔しさもありましたが、難度の高い技に挑戦し、やり遂げた充実感が胸一杯になりました。来年度は、今年を上回る成績を取られるよう、これからも自分との闘いに挑戦し続けます。

また、個人では、2月9日にサ

イデン化学アリーナで開催された第45回全日本バトントワリング選手権関東支部大会に、総進2の4松島朋花さん(藪塚本町中)がトゥーバトンに出場しました。今年度からカテゴリーが変更され、世界大会に出場している一般のメンバーと同じ「シニア」に分類され、レベルが高い中での闘いになりました。松島さんは自己ベストの得点でしたが、入賞には及ばず9位という結果でした。次の大会では入賞できるように、さらなる努力を誓いました。

## ボクシング部 全国選抜まであと一歩

1月23～26日、アダストリアムとアリーナにおいて、第8回関東高等学校ボクシング選抜大会、第6回関東高等学校女子ボクシング選抜大会が開催されました。

本校からは、ライトフライ級で総進2の4山田楓海君(大平南中)、フライ級で文理1の4上野真悟君(間々田中)、ウェルター級で文理1の2林南斗君(館林四中)、女子フライ級で文理1の2五箇歩夢さん(足利二中)、女子バンタム級で文理1の3安藤優美菜さん(足利二中)の5名が出場しました。結果は、林君と安藤さんが準優勝、山田君と五箇さんが第3位となりました。全国選抜大会にはあと一歩及びませんでした

## 活躍する文化部

### 書道部 「書の甲子園」入選

10月11～13日、「書の甲子園」とも言われている第28回国際高校生選抜書展(毎日新聞社・毎日書道会主催)の審査会が行われ、普通3の4藤貫真帆さん(結城東中)・総進3の2上野穂香さん(結城南中)の2人が入選しました。

国内外の出展作品103605点のうち、入賞入選作品は1999点でした。

藤貫さんは、素朴で力強い北魏の「鄭長猷造像記」の臨書で、上



出場した選手たち

が、これからの勝利を目指して頑張りますので、引き続きご声援をよろしくお願いいたします。



藤貫さんの作品



上野さんの作品

野さんは唐の顔真卿が書いた激情にあふれた力強い筆致の「祭姪文稿」を臨書しての入選でした。藤貫さんは、さらに書を極めるべく書道学科に進学、上野さんは、これまでの書道の経験を生かし、巫女として神社に就職が決まっています。今後の活躍を祈ります。

## 写真部

### 第110回 APC

2月7～9日、コムファーストにて市内高校写真部会写真展が開催され、5名が入賞しました。

今回の課題の部のテーマは「動物」でした。課題・自由両部門で、日頃撮りためた写真や、学校行事での青春の1ページを写したものを披露しました。

これからも多くの方に楽しんで見てもらえるような写真を撮っていきたいと思います。

各入賞者は、以下の通りです。

#### 【課題の部】

準特選

文理2の1 矢澤 梨来さん (佐野南中)

入選

文理2の2 野澤 裕海さん (坂西中)

【自由の部】

準特選

文理2の2 伊東 美愉さん (佐野南中)

文理2の2 野澤 裕海さん (坂西中)

総進2の3 佐藤 愛華さん (騎西中)



矢澤さんの作品【なににな?】



野澤さんの作品「ハートを探せ」

## 第74回国民体育大会

いきいき茨城ゆめ国体

本年度も、栃木県を代表する選手として、本校から多くの選手が国民体育大会に出場しました。特に女子バスケットボール部は4名が出場し第3位に入賞するなど活躍しました。

### 【女子バスケットボール(少年女子)】

総進2の3 小川 玲華さん (大谷中)  
 文理1の4 神山 南帆さん (陽南中)  
 文理1の4 清水 絢さん (足利西中)  
 総進1の2 丸山 陽加さん (北押原中)

### 【柔道(少年男子)】

普通3の1 澤口 宗志君 (十二月田中)  
 普通3の2 岡崎 竜丸君 (足利一中)  
 文理3の4 杉之内 暁君 (喜連川中)  
**【陸上(少年男子)】**  
 少年男子B100m  
 総進1の2 松本 涼君 (小山三中)

### 【水泳(少年男子)】

200m背泳ぎ  
 普通3の4 磯野 稜介君 (山辺中)  
 50m自由形  
 文理3の1 福島 悠貴君 (佐野西中)  
 200mバタフライ  
 文理3の2 松下 颯太郎君 (毛野中)  
 400m個人メドレー  
 文理3の3 中里 圭佑君 (桐生中央中)  
 400m自由形  
 総進1の4 福田 紫悠君 (晃陽中)

# 全国大会

## 陸上競技部

全国高校女子駅伝6年連続出場

12月22日、女子第31回全国高校駅伝競走大会に女子長距離チームが出場し、6年連続出場の偉業を成し遂げました。

本大会1区を務めた総進2の2 藤原唯奈さん(真岡中)が想定内の23位で、総進1の2 太田瞳さん(桑中)に標をつなぐと、太田さん



追いつける3区走者大出さん(右)

んが1年生ながら順位を2つ上げる力走を見せ、3区総進2の1大出 茉穂さん(黒磯北中)がさらに追いつきました。続く4区の総進2の5山口あずささん(足利二中)は前半を快調に飛ばしましたが、下りコースに対応しきれず、失速。前年度も同コースで好走した最終5区の主将、文理3の3古橋佳奈さん(赤見中)に巻き返しが期待されましたが、気負いが出たのか、やや順位を落とし26位のゴールとなりました。

### ◆U18・U20日本選手権

10月18〜20日、広島市のエディオンスタジアムにおいて、U18・U20日本陸上競技選手権大会が行われ、U18男子100mに総進1の2松本涼君(小山三中)、U20男子110mにジュニアハードルに普通3の1吉田龍生(佐野北中)が出場しました。2人とも決勝進出を目標に練習を重ねてきまし

たが、怪我で思うようなレースができず悔しい結果となりました。

### ◆2020日本室内陸上

2月1・2日、大阪城ホールにて日本室内陸上競技大会が開催され、U18男子60mにジュニアハードルに総進1の1中里碧翔君(大谷中)が出場したほか、吉田君と松本君も出場しました。



一番左が60mで準優勝した松本君

結果はU18男子60mに出場した松本君が予選から大会新記録を更新、決勝でも力を発揮し準優勝に輝き、U20男子60mにジュニアハードルに出場した吉田君もB決勝に進み5位となりました。

### 全国大会中止にあたって

3月に予定されていた各全国大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。出場予定だった大会と部活動・選手は以下の通りです。

### 【全国選抜大会】

女子ソフトテニス

総進2の2 三好 夏未さん (壬生中)  
 総進2の2 牧野 奏音さん (黒磯中)  
 総進2の3 山中 美緒さん (花園中)  
 総進2の1 中島 妃菜さん (足利二中)  
 文理2の4 大橋 琉那さん (壬生中)  
 総進2の3 牧野 詩音さん (黒磯中)  
 総進1の5 佐藤美々香さん (山辺中)  
 総進1の4 一ノ瀬舞美さん (小山二中)

### 【全国私学大会】

男子バレーボール部

総進2の5 荒川 仁也君 (栃木東陽中)  
 総進2の3 後藤 涼太君 (佐野北中)  
 文理2の4 川澄 航君 (羽生南中)  
 総進2の3 桑川 暁典君 (石橋中)  
 総進2の1 綿貫 蒼太君 (大平南中)  
 総進2の4 前澤 孝彦君 (間々田中)  
 総進1の1 安藤 温斗君 (大平南中)  
 文理1の1 太田 昂希君 (壬生中)  
 文理1の1 蛸澤 祐介君 (板倉中)  
 文理1の2 星野 恭佑君 (田沼東中)  
 文理1の3 中野 大智君 (葛生中)  
 総進1の3 須藤 大智君 (大平南中)  
 文理1の2 相場 洸人君 (足利三中)  
 進学1の3 小此木唯佑君 (太田城西中)  
 マネージャー  
 文理2の1 川上 千晶さん (総和中)

### 【ジュニアオリンピックカップ】

水泳部

4×100mメドレーリレー  
 普通3の4 磯野 稜介君 (山辺中)  
 文理2の1 加藤 晟人君 (毛野中)  
 文理3の2 松下 颯太郎君 (毛野中)  
 総進2の2 大谷 暉斗君 (足利三中)  
 4×100mフリースタイル  
 文理3の2 松下 颯太郎君 (毛野中)  
 文理3の3 中里 圭佑君 (桐生中央中)  
 文理2の3 鈴木 藍人君 (加須西中)  
 総進2の2 大谷 暉斗君 (足利三中)

男子ソフトボール  
 進学2の4 佐野 黎君 (清流中)  
 特進2の2 橋本 颯馬君 (結城東中)  
 進学2の3 赤坂 文平君 (山辺中)  
 進学2の4 小谷 拓巳君 (太田南中)  
 進学2の3 下山 鴻君 (坂西中)  
 進学2の1 石鍋 晴人君 (邑楽中)  
 進学1の1 大森 裕翔君 (栃木西中)  
 進学1の2 奥田 航大君 (館林四中)  
 進学1の3 阿部 竜也君 (太田城西中)  
 進学1の3 柴崎 悠希君 (岩舟中)  
 進学1の3 鈴木 大陸君 (白鷲足利中)  
 マネージャー  
 特進2の1 亀田 凜さん (足利二中)

# 白鷗大学だより

フルス ウルトラ  
PLUS ULTRA —さらに向こうへ。

## 学生ボランティアが復旧に向け活躍 （述べ800人が浸水したキャンパスを清掃作業）

昨年10月の台風19号による記録的な集中豪雨により、思川の支流である豊穂川が越水。大行寺キャンパスの本館を除くすべての建物の1階部分が浸水し、停電や電話の不通等の被害に遭いました。この事態に、在学生が自らボランティアとして集まり、復旧に向けて活動しました。

浸水した校舎の写真を見た教育学部4年の大島夏帆さんが、「キャンパスを自分たちの手で復旧させよう」とSNSを利用し、在学生に協力を呼びかけると翌日には多くの学生ボランティアが復旧に向けて作業を開始しました。

その後、一部施設の利用に制限があったものの、被害発生から一週間後、卒業生や取引先の皆様にご協力いただきながら、授業を再開することができました。

## 第13回白鷗大学フォーラム in 大手町 （スポーツの魅力テーマに500人が参加）

13回目を迎えた「白鷗大学フォーラム」が、東京のよみうり大手町ホールで11月25日に開催され、約500人の聴衆が熱心に耳を傾けました。

毎年、著名なゲストを招いて行われていますが、今回は、『がんばれ日本！スポーツの魅力と健康』をテーマに、日本ラグビーフ

開することができました。

大島さんは、「ここまで大きな組織になるとは思わず、とても驚いたと同時にとても嬉しかった。私自身が成長できた期間でもあった」と当時を振り返りました。

一週間の復旧作業でボランティアに参加した学生は延べ800人になりました。



ットボール協会専務理事を務める岩渕健輔氏が「スポーツの力〜ラグビーW杯を通して〜」と題した講演を行いました。岩渕氏は、日本で初めて開催されたW杯を終えて「スポーツには夢と希望を与えられる力があると確信した」と話されました。さらに「一過性の盛り上がりではなく、スポーツの力を社

## 男子バスケット部から2選手がプロの世界へ （Bリーグ特別指定選手に）

男子バスケットボール部で活躍した前田怜緒選手と星野曹樹選手が、Bリーグ1部チームの特別指定選手としてプロチームに入団することとなりました。

滋賀レイクスターズに加入する前田選手は「大学で学んできた経験や知恵を生かし、ルーキーらしくプレーしたい」と意気込みを語りました。



同じく新潟アルビレックスBBの星野選手は「夢のプロ入りを果



星野選手

たせたのは、家族や監督、仲間のおかげ。早くチームに貢献できるように日々精進したい」と抱負を述べました。

両選手は本学の主力として活躍し、昨年行われた「第68回関東大学選手権大会」での優勝、「第71回全日本大学選手権大会（インカレ）」におけるベスト4入り（大きく貢献、また、U22日本代表にも選出されました。今後ますますの活躍が期待されます。

会に還元できる場を維持していくことも大切になってくる」と強調されました。

その後開かれたパネルディスカ



ッションでは、日本陸上競技連盟理事の瀬古利彦氏、医師で白鷗大学名誉教授のきたやまおさむ氏、五輪3大会連続体操金メダリストで白鷗大学名誉教授の加藤澤男氏、ノンフィクション作家・日本スポーツ学会代表理事の長田渚左氏らが登壇し、「スポーツの魅力と健康長寿」をテーマに話し合われました。健康寿命を長くするためには、体を動かすことが大切で、運動する自分と向き合い、自分にとってのよい加減を知ることが大事と締めくくられました。

# PTAだより

「新しい白鷗大学足利高等学校に」

PTA会長 西場 伸一



卒業生の皆さん、保護者の皆様  
御卒業おめでとうございます。

白鷗大学足利高等学校で勉学に  
励んだ3年間にはどんな思い出が  
ありますか。楽しかった「修学旅  
行」、仲間と汗を流した「体育  
祭」、夜遅くまで企画作りに取り  
組んだ「白鷗祭」「富can祭」  
など数多くの思い出を積み重ねた  
ことと思います。これからは一人

## 新生徒会役員誕生

11月1日の認証式をもつ  
て新生徒会が発足しました。  
新生徒会メンバーは、本校  
舎8名、富田校舎11名の計  
19名です。昨年からの経験  
者は10名で半分は新メン  
バーです。しかし、一人ひ  
とりがやる気に満ち溢れて  
おり「学校を今以上に良くし  
よう」との熱い思いを持っ  
ています。登校時の挨拶運  
動、ベットのボトルのキャッ  
プ回収など先輩から引き継



本校舎生徒会役員

- 会 長 文理2の4 猿橋橋之助 (佐野南中)
- 副会長 文理2の2 河田流空 (桜木中)
- 文理解の1 長谷川瑞南 (定利北中)
- 総進の3 木村 天 (天田南中)
- 議 長 文理2の1 恩田花音 (佐野北中)
- 副議長 総進の1 小野見夏琉 (佐野北中)
- 会 計 文理2の4 辻 彩花 (佐野西中)
- 会計監査 文理2の1 矢澤梨来 (佐野南中)



富田校舎生徒会役員

- 副会長 進学2の2 持田真衣 (多々良中)
- 議 長 進学2の2 松本 花 (白鷗足利中)
- 副議長 特進2の1 石川百々果 (佐野北中)
- 書記 特進2の1 秋山万鈴 (白鷗足利中)
- 会 計 特進1の1 長島知哉 (白鷗足利中)
- 会計監査 進学2の2 齊藤悠介 (太田西中)
- 進学2の3 根岸あや (大泉西中)
- 特進2の1 大川葵衣 (佐野西中)
- 特進1の1 大槻拓夢 (宝泉中)
- 特進1の1 蜂須優真 (白鷗足利中)
- 特進1の1 須永来夢 (山辺中)

いだもの他、今までの学校行事の  
見直しを始めました。「PLUS

ULTRA」の精神で、生徒会役員  
が丸となって新しいことにチャレ

ンジし、白鷗大学足利高校の新時代  
を築いてまいります。

## 予餞会



1月31日、予餞会が新体育館で  
行われました。今年は、特別ゲス  
トの出演はなく自分たちのオリジ

な活動に取り組みで行きた  
いと思っております。

強い歌声からスタート。新里先生  
とヘザー先生のコラボ演奏、  
Music Art Clubが卒業生のために

つくったオリジナル曲を披露、演  
劇部の「妄執グレート」、演  
BLANK CAT Showのダンス  
パフォーマンスと続きました。パ  
トントワーリング部による見事な  
演技も見られ、最後は放送部によ



Music Art Club

応援を続けてまいります。  
そして、4月には新入生が入学  
してきますが、新カリキュラムに  
変更されて全学年が揃うことにな  
ります。新しい「白鷗大学足利高  
等学校」の真価が問われる時代に  
入ったのだと思います。在校生の  
皆さんには先輩たちに負けない様  
々、今までの頑張りを持ってお  
ります。私たち保護者も、教職員

ナル予餞  
会となり  
ました。  
学校長、  
生徒会長  
の挨拶の  
後、文理  
3の3大  
竹空虎君  
(足利二  
中)の力  
を築いてまいります。

## 編集後記



令和の時代が始まり一年。特定  
非常災害に指定された台風19号、  
現在も世界各地へと拡大を続ける  
新型コロナウイルス感染症と、私  
たちにとって人知を超えた脅威を  
体験する一年となりました。特に  
新型コロナウイルスは未だ経験し  
たことのない状況を生み出し、収  
束の気配すら見えません。

その影響を受け、本校でも2月  
末から休校が続き、修学旅行の実  
施を断念、卒業式、続く入学式も  
縮小しました。また、各運動部の  
全国大会も中止となり、出場する  
はずだった選手たちが涙を飲みま  
した。

こんな状況だからこそ、私たち  
は自分自身の「人間力」を見つめ  
直し、情報の真偽を見極めて予期  
せぬ状況の中で決断し、行動でき  
る力を身につけることが必要にな  
ると思います。

※ お忙しい中、原稿・写真等の  
協力ありがとうございました。  
編集・校報委員会  
発行・白鷗大学足利高等学校  
足利市伊勢南町3の2  
0284-410890  
制作・(有)コーエイプロセス  
発行日・令和2年3月31日